

## 蒸し器の取り扱い説明 (MME-500)

① 給水	給水は、新しい水道水を使用して下さい。
② 水位	水量計の適量水位迄（約4ℓ）給水し、水位を確認して下さい。
③ 電源セット	電源コードをコンセントに差し込み、アース線の設置を行なって下さい。
④ まんじゅうのセット	扉を開けて、棚皿の上に、肉まん、あんまんを冷凍のまま並べて下さい。〔1段9ヶ、5段で45ヶ迄並びます。〕 （まんじゅうが周囲のガラス面に直接ふれない様にして下さい。）
⑤ 蒸し時間、保温温度の設定（添付別紙参照）	最初に(a)のON/OFFスイッチを押して下さい。 次に蒸し上がり後の保温温度の設定を(b)の上下タッチスイッチを押して、70℃～75℃にセットして下さい。 蒸し時間も(c)のタッチスイッチで同様に20～25分にセットして下さい。（蒸し時間、保温温度は一度セットすると電源をOFFしても記憶されます。電源プラグを抜くと記憶は消えます。）
⑥ 蒸し上がり	⑤でセットした時間が経過して、デジタルの表示が0分になるとブザーが鳴って、蒸し上がりが完了し、その時(D)のLEDの点灯表示は、蒸しより、保温に変わります。
⑦ 保温	まんじゅうは蒸し上がってから適度の時間、保温するとふっくらと柔らかくなります（むらし効果）。まんじゅうを追加して蒸す時は一度、電源をOFFしてから④～⑥を操返して下さい。
⑧ 水の補給	給水パイプの要給水ライン迄水位が下がったら、水の補給をして下さい。要給水の下ライン迄減ると、警告ブザーが鳴ります。
⑨ 終業時の処置	電源を切り、残ったまんじゅうを処分して下さい。次に排水パイプよりタンクの水を抜き取って下さい。排水が完了したら庫内の貯水タンクのカバーを取り、水道水で洗浄して水を循環させて、排水パイプより排水して下さい。（電源プラグを抜くと⑤で記憶した蒸し時間、保温温度の記憶が消えます。）